

大腸 CT 検査技師認定の際の読影トレーニングレポートの審査基準

- 病変を認める場合には 2 次元画像と 3 次元画像の両方を基本的には掲載すべきである。ただし、病変が残渣内に埋没している場合などでは 3 次元画像の掲載は必要ない。この原則に沿っていないレポートは不合格となる場合がある。
- 病変を認めた場合、病変の位置・サイズ・肉眼型を記載する。この原則に沿っていないレポートは不合格となる場合がある。
- 病変を正しく報告していない場合は読影失敗とし、失敗例が 30% を超える場合には不合格となる場合がある。